

ホセ・ルイス・ゴンサレス
没25周年記念公演

引き継いだもの

大阪公演

Jose Luis González
1932-1998



1998年に他界した巨匠ホセ・ルイス・ゴンサレス。
スペイン生粋のギターの音色と音楽を引き継ぎ、今に伝える
三名の弟子たちが敬愛するマエストロに贈る一夜のオマージュ。



岩崎慎一



富川勝智



池田慎司

1998年3月22日、心筋梗塞にて急逝したホセ・ルイス・ゴンサレス。世界最高のギター教授といわれたレヒーノ・サインス・デ・ラ・マサと世界最高のギター奏者であったアンドレス・セゴビアからその才能を認められた“マエストロ”でした。1980年以降、彼の教えを受けるため数多くの留学生が彼の住んでいたアルコイを訪れました。晩年となった1990年代後半にレッスンを受けていた“最後の弟子”たちが岩崎慎一、富川勝智、池田慎司の三名です。スペインの伝統奏法をマエストロから引き継ぎつつも、現代的な感性を失わずに演奏活動を続けてきた三名と言えます。この三人が考える「マエストロ(ホセ・ルイス・ゴンサレス先生)から引き継いだもの」をテーマに演奏します。

2023年11月2日(木) 開場18:45/開演19:15
日本福音ルーテル大阪教会

〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町3丁目1-6 ホテル・ザ・ルーテル1F
□大阪メトロ谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車、1-B出口より徒歩1分

主催: 岩崎ギター教室 guitarraiwasaki@gmail.com
マネジメント: フレット楽器ヤマサキ

入場料 3,000円(前売&予約 2,500円)

チケット取り扱い・ご予約
フレット楽器ヤマサキ: Tel & Fax 06-6948-8239
info@fretgakkiyamasaki.com

(株)サロット: Tel 075-746-6813 / Fax 075-746-6814
info@salotto-kyoto.com

ホセ・ルイス・ゴンサレスは、1932年7月2日、スペイン・アリカンテ県のアルコイに生まれる。アマチュアギタリストの父の影響でギターをはじめ、隣町ガンディアのギタリスト、サルパドール・ガルシアに学ぶ。その後ギターの盛んなバレンシアに出て同地の音楽院で音楽理論を学び、ギターはラファエル・バラゲールに師事した。

若くして才能を認められたホセ・ルイスは、当時、世界最高の教授とうたわれたマドリッド音楽院主任教授のサインス・デ・ラ・マーサに3年間師事し、「私の生徒で最もすぐれたギタリストの1人」と讃えられる。その後、1958年にはサンティアゴ・デ・コンポステラのセゴビアのマスタークラスに出席し、それを契機にセゴビアの愛弟子の1人となり、この名匠から「ホセ・ルイスの音色の美しさは無類である。良い音の出し方は彼に学びなさい」との賞讃をうけるまでになる。ホセ・ルイスは口癖のように、「セゴビアの右手、レヒーノの左手を併せもつことがギタリストの理想」と述べていたように、彼のテクニックはこの両匠から受け継いだものである。

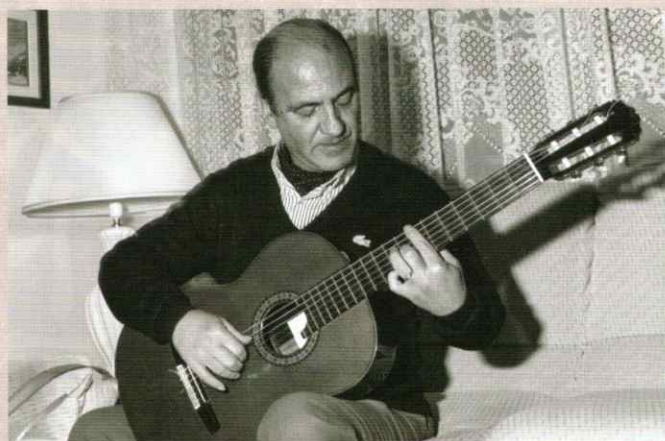
1961年、北西スペインのオレンセで催された国際ギターコンクールで「マルガリータ・パストール賞」を獲得してからは、スペイン内外でコンサートを行い、どこでも絶賛を浴びる。セゴビアの紹介により、1962年から7年間オーストラリアに赴き、シドニー国立ギター音楽院ギター科教授を務める。日本に初めて訪れたのは1967年、このオーストラリアで活動していた時期、35才のときであった。

その間CBSレコード社より数枚のLPレコードを発売。ヨーロッパ、アメリカでも精力的な演奏活動を行なった。

その後スペインに戻った彼は、子供を次々に失う不幸に見舞われ、6年間ギターを放棄し、トラックの荷積み、洋服のセールスの仕事につくことを余儀なくされた。しかし1974年、日本人留学生たちの援助により奇跡的にカムバックし、翌年マドリッドのアテネオで行なったコンサートの成功により、再び活動を始める。

1980年、13年ぶりに日本公演を行い名声を得てからは、彼の住むアルコイに学ぶ日本人留学生は引きも切らず、その数は二百人にも達した。このことは今も歴史的事件として、ギター界に記憶されている。

1998年、7度目の来日公演を直前にした3月22日、心筋梗塞にて死去。享年65歳だった。



Jose Luis Gonzalez

岩崎慎一 Shinichi Iwasaki

ギターを松山豊樹、木村英明、藤井敬吾の各氏に師事。1993年スペインへ渡り、ホセ・ルイス・ゴンサレス氏に師事。また、井上幸治、フェルナンド・ロドリゲス、アレックス・ガロベアの各氏にも学ぶ。D.ラッセル、M.パビローニ、A.ディアス、P.ロメロ、他各氏のマスタークラス受講。第23回クラシカルギターコンクール(東京)、ホセ・ルイス・ゴンサレス国際ギターコンクール(アルコイ)優勝。その他、第43回マリア・カナルス国際ギターコンクール(バルセロナ)等のコンクールに入賞。現在関西を拠点にコンサートのほか、マスタークラス、ワークショップ等の教授活動にも力を入れている。

富川勝智 Masatomo Tomikawa

クラシックギターの本格的なプログラムによる演奏会と同時に、バロックギターやビウエラなどを用いた古楽の分野でも精力的に活動を行っている。またジャズやポピュラーのミュージシャンとの共演も多く、ジャンルに囚われない活動で注目されている。上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業後、スペインへ留学4年。巨匠ホセ・ルイス・ゴンサレス、アレックス・ガロベアに師事。帰国後、精力的に演奏活動を行う。CD「ブラテロとわたし」「あなたとわたし」はスペインギター音楽の知られざる歴史的側面を伝える名盤としてレコード芸術誌特選盤に選ばれるなど評価が高い。著作「クラシックギターの教科書」「子どものためのクラシックギターレッスン」「クラシックギターワークアウトブック」(YAMAHA)はいずれもベストセラーであり、指導者としても優れた門弟を育てている。洗足学園音楽大学講師。公益社団法人日本ギター連盟代表理事。ギターリーダーズクラブ正会員。

池田慎司 Shinji Ikeda

北九州生まれ。9才より堀幸悦に師事。1995年スペインへ渡り、ホセ・ルイス・ゴンサレスに師事。同時期にアポロ音楽院でパーカッションを学ぶ。国内外のコンクールに入賞し、1998年の帰国後、演奏活動を開始する。2004年九州交響楽団とアランフェス協奏曲を共演。現在はスペインギターフェスタのメンバーとしても活動を始め、ソロ以外にも様々なミュージシャンとの共演を行っている。2020年、東京で行われた日本ギター連盟主催のコンサートにおいて、ギター11本による「ブラジル風パッサ第4番」全楽章のアレンジを手がけ好評を得る。(公社)日本ギター連盟会員。ongaku Goya主催。

